

中小企業タイムズ

Small and Medium Enterprises Times 山梨県中小企業団体中央会機関誌

定価100円

昭和36年4月10日

第三種郵便物認可

会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

今月の見どころ

- 富士東部地域組合交流会 1面
- 中小企業団体全国大会 2面
- 景況活動・オペニオン 3面
- 組合活動あれこれ 4面
- 6次産業、ものづくり 事業者照会 6面
- 各種情報提供 7面
- ものづくり2次公募採択企業紹介 8面

11

 November
2016年
第720/295号
(毎月1日発行)

10月の出来事

●時事

- 3日 ノーベル生理学・医学賞 大隅良典氏に決定
- 7日 リオオリンピック メダリストパレード
- 8日 阿蘇山の爆発的な噴火
- 12日 電通労死労災認定

●山梨県中央会ニュース

- 5日 正副会長会議
- 5日 第20回富士東部地域組合交流会
- 7日 助成のための合同就職説明会 Woman's Messe
- 18日 組合青年部県大会
- 19日 第68回中小企業団体全国大会(石川県)
- 29日 第47回中小企業団体親睦ゴルフコンペ

11月の予定

- 4日 組合青年部全国講習会
- 16日 正副会長会議・理事会
- 29日 全国中小企業団体中央会創立60周年記念式典

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

富士東部地域が変わる!新たな一歩 業界代表者が一堂に会す

..... 第20回 富士東部地域組合交流会開催



交流会の様子

中央会では10月5日(水)に富士吉田市のハイランドリゾートホテルにおいて、富士東部地域組合交流会を開催、富士・東部地域の中小企業組合関係者約90名が参加した。

交流会は、富士東部地域の活性化のために、地域経済の将来展望と企業の経営力の強化について共通の認識を深めるための取り組みとして、今回で20回目を迎えた。

今回は「富士東部地域が変わる!新たな一歩」をテーマに、富士東部地域を古くから支えてきた産業基盤や観光資源などを活かしながら、企業が経営力を強化革新し継続・発展するために必要な取り組みのきっかけとするために開催した。

講師及び進行役を務めた
中小企業診断士小口一策氏

交流会は細田幸次副会長により開会し、栗山直樹副会長の主催者挨拶の後、山梨県産業労働部立川弘之次長、富士吉田商工会議所堀内光一郎会頭から来賓挨拶、山梨県富士工業技術センター小俣芳久所長、富士吉田市役所産業観光部商工振興課水越欣一課長の紹介を行った。

講演会では「企業の継続・成長の条件とは」をテーマに、中小企業診断士小口一策先生より、刻々と変わっていく経済環境の中で企業が継続・発展するために必要な条件や方向性について講演が行われた。小口先生からは、事業の存続のためには企業の伝

統を守りながら人材・技術・設備等の経営基盤をより強固なものするとともに、発展のためには、常に柔軟に様々な情報を得ながら優れた人材を育成・確保していくことが継続への第一歩であること、また、会社の強みを伸ばした事業展開を行うことで、ビジネスチャンスをつかむことができるなどといった話がされた。

続いて、小口先生がコーディネーターとなり、富士東部地域の業界の代表者3名からの事例発表が行われた。

1人目の(有)テンジンの小林新司社長からは、「新時代を生き抜くためのリネンの魅力」として、機屋の歴史とリネン製品への取り組みを通じて自社製品をブランド化し山梨の郡内織物を更に世に広めていくための想いについて、2人目のシミズ光機(株)の清水一孝社長からは、「製品加工技術とノウハウを駆使したものづくりへのこだわり」として、発注元との強力な信頼関係の構築や人材育成の中から他社が敬遠しがちな組立加工にチャレンジしてきたことについて、3人目の(株)ふじさん牧場藤田太一社長からは、「大自然と人と動物とのふれあいから学ぶ牧場経営」として、富士の麓という自然に恵まれた環境を活かす中で牧場経営と外国人観光客に頼らない顧客ニーズを先取りしていく取り組みについて、それぞれの状況、活動内容、今後の展望などの発表がなされた。

事例発表のまとめとして、小口先生より、富士東部地域の新たな可能性として、経済環境の変化に合わせ企業が発展、継続していくためには、個々の企業自らの経営基盤の現状を理解し常に変革を続けていくことが大切であり、その取り組みの総和が地域経済全体の発展に繋がると総括があった。

閉会挨拶として渡辺教一副会長から、改めて地元富士東部地域の中小企業が協力し合って地域全体を盛り上げていきたいと力強い決意が述べられ交流会を閉会した。

閉会後には参加した富士・東部地域の中小企業組合関係者それぞれ名刺交換を行うなど懇親を深めた。



主催者挨拶をする栗山副会長

小林 新司
有限会社テンジン 社長清水 一孝
シミズ光機株式会社 社長藤田 太一
株式会社ふじさん牧場 社長

第68回中小企業団体全国大会を金沢で開催

参加者は、古都金沢の料理と立山の大自然も満喫



挨拶を述べる大村功作会長

10月19日(水)、北陸新幹線の開通により賑わいを増した金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」において、『団結は力 見せよう組合の底力!』をスローガンに第68回中小企業団体全国大会が開催され、全国から中小企業団体の代表約2,500名が参加、本県からも19名の組合関係者が出席した。

全国大会は、全国約2万7千組合等の経営課題等に関する要望を総意として取りまとめ、国等に対して中小企業の振興施策の強化を訴えるもので、「実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化」について6項目、「地域を越える中小企業の生産性の向上」について8項目の全14項目の要望が提出され、意見発表後に決議と大会宣言の採択が行われた。決議後の各要望は、全国中央会を通じて政府に提出され、実現のための活動を展開していくことになる。

表彰関係では、全国から36の優良組合、73名の組合功労者、19名の中央会優秀専従者が表彰された。本県からは、優良組合として山梨



優良組合
山梨県酒造組合
(北原兵庫会長)



組合功労者
山梨県アパレル工業組合
川手正紀理事



中央会優秀専従者
本会労働対策課
千野哲宏主事

県酒造組合(北原兵庫会長)、組合功労者として山梨県アパレル工業組合の川手正紀理事、中央会優秀専従者として本会労働対策課千野哲宏主事がその功績を称えられ、受賞の栄に浴した。

また、大会の開催を記念し、「石川の伝統工芸とものづくりと連携支援プロジェクト」と題した特別企画展が開催され、加賀百万石の伝統文化の「美」と「技」を紹介する「伝統工芸の実演と展示コーナー」、国内屈指のものづくり立県石川の知られざる実力を紹介する「石川のものづくりコーナー」、パネル展示「商店街支援」コーナー、和菓子実演と抹茶コーナーに加え、石川県中央会連携支援プロジェクトコーナーでは展示ブースと販売ブースが設置された。併せて、石川県が誇る26の老舗有名店の逸品販

売も行われた。

本県からの参加者は、大会終了後、金沢屈指の料理旅館浅田が経営する「かなざわ石亭」において、伝統の味を守りながら創意工夫をこらした情緒豊かな会席料理を堪能した。

2日目は、立山黒部アルペンルート観光で立山駅から美女平まで標高差500m平均勾配24度の行程を紅葉を楽しみながらケーブルカーで上昇。美女平から室堂まで標高差1,500mの行程は高原バスで変化に富んだ大自然を楽しみながら移動する途中、霧が発生。天候が危ぶまれたが、ルートのハイライト「室堂」は快晴で、参加者は立ち並ぶ山岳景観や「ミクリガ池」などを楽しみながら散策した。ルート全体を通して好天に恵まれ、立山連峰をはじめとする高峰を楽しむことができた。平日にもかかわらず、各交通機関や観光地は中国人観光客により満車状態で、改めて中国人観光客の消費により日本の観光地の経営が成り立っている実態が感じられた。

今回の第69回中小企業団体全国大会は、長野県において来年10月26日に開催されることが決定され、大会旗の引き渡しが行われた。



第68回全国大会参加者



室堂から望む立山連峰

老後生活をどう支えていくのか

総務省の平成27年「国勢調査」抽出速報集計結果によると、65歳以上人口のうち単独世帯(世帯人員が1人の世帯)の人口は男性約180万人、女性約383万人で、高齢者人口に占める割合は、男性が12.5%、女性が20.1%となっている。高齢化社会が進んでいるわが国では、老後を一人で過ごす期間の長い高齢者が増えている。

総務省の「家計調査報告(家計収支編)」(平成27年)によると、老後の単身世帯の必要生活資金は平均月額約15万円で、老後の定期収入である公的年金や企業年金では生活費や税金・社会保険料等の支出が賄えず、貯蓄の取り崩し等で不足分を補っている状況にある。

また、「家計の金融行動に関する世論調査」の平成27年調査結果によれば、単身世帯の金融資産の保有額は平均値で773万円となっているが、ここ数年は貯蓄のない単身世帯も増えおり、47.6%の世帯に貯蓄がないことがわっている。

我が国の年金制度を維持していくためには、将来的に給付水準を段階的

に引き下げていかざるを得ないようである。「生涯現役社会」と言われ、定年後もそれまでのキャリアを活かし生き生きと働き続けられることは悪いことではないが、実際は年金以外の収入を得るためにできるだけ長く健康で働き続けなければならないのかもしれない。また、来年1月より公的年金に上乗せして給付を受ける「個人型確定拠出年金」を選択することができるようになるが、元本保証のない商品もあるなど老後の生活設計にも自己責任が導入される。

経営者でもサラリーマンでも、年金と預貯金で悠々自適の老後を送れる人はそれほど多くないように思われる。老後に必要な生活費を確保するために、年金だけでなく預貯金や働き方を組み合わせた生涯設計を考えなければならない。自分の余命がどれだけあるのかはわからないのと同時に、綿密な老後の計画が立てにくい時代になりつつある。



データから見た

業界の動き

平成28年

9月分

情報連絡員からの景況報告の概要

平成28年9月の山梨県内の全業種のDI値(前年同月)は、景況感マイナス12ポイントと前月から10ポイント改善したが、売上高マイナス16ポイントと3ヶ月ぶりに悪化、収益状況もマイナス16ポイントと4ヶ月連続で悪化した。前月比で比較すると製造業は景況感是不変、売上高は20ポイントと大幅に悪化した収益状況も5ポイント悪化した。非製造業の前月比は、売上高は是不変、景況感17ポイント改善、収益状況は3ポイント悪化した。

製造業では、海外経済の減速の影響による受注の減少、停滞、輸出の不振による先行きの見通しの悪さを懸念する報告が寄せられた。

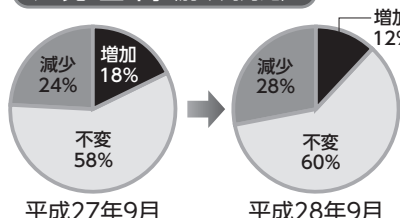
非製造業では、円高や中国における関税の引き上げなどにより爆買い目的の中国人旅行者の減少、宝飾を中心とした中国人バイヤーの取引金額の低下、前月の台風などの天候不順による野菜の高騰により消費マインドが低下し国内の景気が冷え込んでいる。

また、全業種的に経営資源の一つである人材不足が顕著となっている。地域経済を支える中小企業の経営力、競争力強化のための若年技能者等の育成・確保、企業が有する技術・技能の継承が急務となっている。個企業で取り組むには課題も多いことから、組織力を活用した早急な取り組みが望まれる。



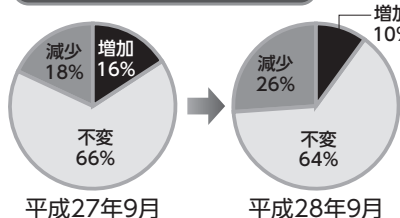
データから見た業界の動き(平成28年9月分)

売上高(前年同月比)



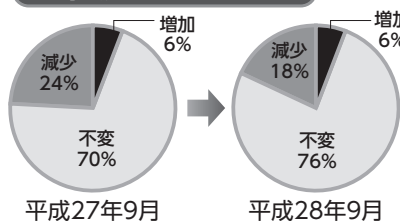
●DI値	▲16(前年同月比▲10)
●業種別DI値	
製造業	▲30(前年同月比▲20)
非製造業	▲7(前年同月比▲4)
●前月比DI値	
製造業	20ポイント悪化
非製造業	不変

収益状況(前年同月比)



●DI値	▲16(前年同月比▲14)
●業種別DI値	
製造業	▲20(前年同月比▲5)
非製造業	▲13(前年同月比▲20)
●前月比DI値	
製造業	5ポイント悪化
非製造業	3ポイント悪化

景況感(前年同月比)



●DI値	▲12(前年同月比+6)
●業種別DI値	
製造業	▲15(前年同月比+5)
非製造業	▲10(前年同月比+7)
●前月比DI値	
製造業	不変
非製造業	17ポイント改善

業界からの報告

製造業

- 食料品(水産物加工)／ギフト関係は横ばい。ホテル・レストラン等向けの生食材は伸長し、全体の売上は前年同月比141%だったが、原材料の値上げなどにより利益には繋がらなかった。
- 食料品(洋菓子製造)／OEMは前年並みだが、自社製品の量販店、専門店向けや輸出が不振、特に彼岸用ギフト商品が足を引っ張り、全体の売上は93%と前年を下回った。
- 食料品(菓子)／9月の売上は、昨年対比10%減少。菓子職人の高齢化により新たな雇用をしたいが職人の人材自体が不足。
- 繊維・同製品(織物)／裏地やネクタイは低調、インテリア関係は高級ホテル関連の受注は順調、傘地も夏期からの台風などにより順調に推移。
- 繊維・同製品(アパレル)／企業間格差が広がっている。
- 木材・木製品製造／先行きが見えない経済環境の下、住宅着工が減少し厳しい状況。
- 窯業・土石(砂利)／公共工事が徐々に始めているが、景況感が好転したとまでは感じ

られない。

- 窯業・土石(山採石)／4～8月の製品出荷量は、前年同月比2.5%以上減少。諸資材の高騰により、利益率は下降気味であり、設備投資が出来ない状況が続いている。さらに、RC(再生)材は公共事業に積極的に使用することとなっているが、17%の減少となり、公共事業費の減少が顕著であることが推測される。
- 鉄鋼・金属／昨年より若干よくなったが、来年の見通しは不明。
- 一般機器／海外経済減速の影響により工作機械関連が落ち込み製造業は厳しい状況だが、先月(8月)より全体的には受注状況が改善傾向。
- 電気機器／世界的に経済が冷え込んでいるため、業況が全体的に前年より悪化し続けている。
- 宝飾(貴金属)／昨年までの受注状況が悪かったため、数字だけは回復したが、業況はとて回復基調とはいえない。

非製造業

- 卸売(ジュエリー)／国内流通は低調。中国経済の減速等により取引内容も低下しているが、低価格のピアス、イヤリング等の売上は増加傾向にある。
- 小売(青果)／東北や北海道で収穫期を迎えた野菜等が、台風や長雨により収穫ができないため品不足となり価格が前年対比20～50%上昇。そのため、消費者マインドはさらに冷え込んでいる。
- 小売(食肉)／昨年に比べ食肉相場が安定してきている。しかし、年末に向け出荷頭数が少ない牛肉は昨年以上に高騰する見込み。
- 小売(電機製品)／量販店は好調だったが、地域店は大幅ダウンとなった。テレビ、エアコンは横ばいだが、冷蔵庫や太陽光発電等が前年を大きく下回った。
- 宿泊業／円高と帰国時の中国関税の影響により中国からの旅行者が減少。
- 警備業／前年同月比で業況は好転している

が、人員確保が難しい。

- 建設業(総合)／9月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は41%増加、請負金額は38%増加。9月までの累計では、件数で12%増加、請負金額では11%増加。
- 建設業(型枠)／公共・民間工事ともに多少動きがあるが、例年より動きが鈍い。一昨年に比べ仕事量が大幅に少なく、先行き不安。
- 建設業(鉄構)／県内の物件は少なく、首都圏に依存する傾向が続いている。
- 設備工事(電気工事)／公共工事の発注が少しずつあるが、新築ではなく改修が大半。街中も建物がなくなり駐車場が増加。
- 設備工事(管設備)／仕事量の減少により収益が悪化。また、配管工等の職人や経営者の高齢化により技能者確保が難しい。
- 運輸(タクシー)／乗務員が1人減少。雨が多くの動きが少ないため売上減。特に、夜の乗車客数が減少。

オピニオン opinion

株式会社 岡部生花店 代表取締役
(山梨県生花商業協同組合 理事)

岡部 修司 氏

組合や業界のつながりの中から事業承継に取り組む

父親の生花店で働き始めた頃、意見が合わず家を飛び出し甲府市内で自分の生花店を開業しました。当時は、店頭販売も多く同業者の紹介で結婚式場の仕事も得られ、割合早く経営も軌道に乗せることができました。その後、同業者の助言や父の想いなども知り、父の経営していた塩山の生花店を継ぎ二代目となりました。地元密着の生花店を支持してくださるお客様や取引先から信頼を得られる仕事を続けることで創業から68年を迎え、自分も息子に生花店を引き継ぐ時期になり、事業承継には業界や同業者の力添えが重要だと強く感じています。

私自身の経験からですが、毎朝競りに出向き幅広い年齢の同業者と挨拶や情報交換することで人のつながりが自然と広がり、親に相談できないことも同業者の立場から気軽に助言をもらい、経験の浅い自分にとっても大きな安心が得られました。また、親の意見を受け入れにくい場合にも、顔見知りの同業者からの助言なら聞き入れやすいこともありまし

た。親だけが後継者を育てるのではなく、業界のつながりの中から後継者を育てることが、後継者不足を減らし業界を維持する近道ではないかと考えます。

今から16年前、理事長として業界全体の発展を考えなければならぬ立場になり、花卉業界発展のために、生花店の後継者が未来を描けることをテーマに人材育成推進事業に取り組みしました。その結果、生花業界では息子が後継者となる割合が高くなっている要因の一つになったと自負しています。「店を譲る＝引退」ではなく、後継者が社長となった後も現経営者が後継者の経営を背後からバックアップし経営を早期に安定させることができると思います。

これまで組合事業という共同購買や共同販売などが中心でしたが、経営者がスクラムを組み事業継承に業界として取り組んでいくことが、業界の発展につながる重要な組合事業になると思います。



誕生40周年 記念式典を開催 地域とともに愛される赤帽車を目指して

●赤帽山梨県軽自動車運送協同組合

TOPICS

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合(丹羽孝徳理事長 組合員55社)は、10月16日に石和町の華やぎの章慶山において「誕生40周年記念式典及び祝賀会」を開催した。当日は、樋口雄一甲府市長をはじめ、来賓、組合員、関係者など60名以上が出席し、盛大に40周年を祝った。



全国赤帽「小林会長あいさつ」

記念式典では、第三代理事長の渡辺実氏、第四代理事長の幡野良治氏、第五代理事長の市瀬貴彦氏の3名の組合運営に対する献身的な取り組みに対して感謝状の

授与も行われた。

組合は、全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会の「山梨県支部」として、軽車両運送業を営む有志が昭和51年に任意組合を結成して活動を始めた。当時は、甲府市に事務所を設け、わずか車両5台で運営していた。しかし、厳しい競争環境の影響を受け経営が伸び悩み、新たな事業活動を模索する中で個々の能力では自ずと限界があると考え、組織拡大による個人運送事業の業界発展のために昭和54年に法人格を持つ協同組合を設立した。

丹羽理事長は、赤帽山梨県の初代理事長清水武士氏が、赤帽創始者である松石俊夫氏の考えに共感して、第二の人生を赤帽にかけたことは間違っていなかったことを、後に続く組合員に向けて残したメッセージを読み上げ、挨拶の最後に「松石俊夫会長の創始当時の目標である『庶民の庶民による庶



感謝状授与式の様子

民のための運送業』という言葉に胸に組合員全員で力を合わせていきましょう。」と結んだ。

記念式典に続いて行われた祝賀会では、来賓と共に余興等を楽しんだ。終わりに、組合員と職員が一体となって、地元に愛される赤帽車として、地域の皆さまに喜んでいただけるような運送業に一步でも近づく努力を続け、更なる50年、60年の発展に向けて頑張ることを出席者全員で誓った。

自動車整備のPRイベント 「車ふれあい祭り2016」を開催

●山梨県自動車整備商工組合

TOPICS

山梨県自動車整備商工組合(荻原公明理事長 組合員912名)は、10月29日(日)に(一社)山梨県自動車整備振興会と共催で甲府市「アイメッセ山梨」において「車ふれあい祭り2016」を開催した。

会場では様々なイベントが実施され、多くの来場者を集めた。特に注目を集めた午前中の「第21回山梨県自動車整備技能競技大会」では、故障箇所の特定や原因を探るための統一の課題を課した車両が持ち込まれ、各支部から選出された企業の従業員や若手後継者らのチームによる競技が行われ、企業の従業員



や家族をはじめとして一般来場者の声援の中、山梨県の自動車整備業界を担っていく若き整備士たちの熱き戦いが繰り広げられた。

組合では、業界の発展のためには技術力が高く安全で安心できる自動車整備工場であることをユーザーに向けてPRすることが必要であると考え、これまで組織内部で開催していた競技大会を、技術力向上を目指す姿勢をアピールするために一般公開とした。

また会場では、愛車に関する悩み・疑問などに答える自動車なんでも相談コーナーや最新技術の自動車ブレーキを体験するコーナーの開設、多数のなつかしの車の展示やスタンプラリークイズ参加者を対象にしたお楽しみ大抽選会なども行われた。また、屋台コーナーではグルメ料理が提供されて、社会貢献の一環として売り上げの一部が交通遺児の支援



のために寄付された。なお組合では、事業所が県内各地に点在していることから「子供110番のお店」の取り組みも進めており、地域に愛される自動車整備工場になることも目指している。

多くの来場者を集め開催されたイベントは、午後3時の競技大会表彰式をもって盛会裏のうちに閉会した。

災害時に地域貢献できるSS(サービス・ステーション)をめざして ～災害時対応研修会を開催～

山梨県石油商業組合

TOPICS

東日本大震災での石油製品の安定供給に支障が生じた経験を踏まえ、供給体制の災害対応能力を強化する取り組みが進んでいる。資源エネルギー庁は災害時に地域の石油製品供給の拠点となる「自家発電設備」や大型タンク等を備えた「中核SS」、地域配送の拠点となる「小口燃料配送拠点」を指定した。本県でも15の中核SSと12の小口燃料配送拠点が指定され、災害への備えに取り組んでいる。



SSの経営者・管理者が参加

山梨県石油商業組合(西川一也理事長 組合員218社)は、中核SSや

小口燃料配送拠点、組合員GS経営者や管理者を対象に、10月13日にホテルクラウンパレス甲府で災害時対応研修会を行い、組合員14名が参加した。

(株)ジャパンリスクソリューションの篠崎曉氏を講師に、第1部では、熊本地震や鬼怒川決壊の際の地域SSの貢献事例、南海トラフ巨大地震と首都直下地震の被害想定、危険物取扱施設として消防法に即した施設の整備、災害対応ガイドラインにおける中核SSの報告義務などを学んだ。

第2部の店頭混乱回避シミュレーション訓練では、グループに分かれ災害時における車の誘導方法や混乱回避のための人員配置について学んだ。篠崎氏は、「災害対応では単独でできることには限界があり、地域ベース、系列店、地域外SSとの連携体制構築が必須。災害時に想定される様々なケー



グループワークでのシミュレーション訓練

スを社内で共有し、日頃から訓練することが重要である。」と説明した。

西川理事長は、「過去の災害では石油のライフラインとしての重要性が再認識され、安定供給に向けた当業界への社会的要請と社会的役割が大きくなっている。山梨県も富士山噴火、南海トラフや東海沖の地震など今後想定される災害に対応するために、組合を中心に関係機関と連携を図りながら、自家発電設備等の施設や災害時の対応計画を整備していく。」と話した。

●山梨県中小企業団体青年中央会

「将来的な事業継続について考える」 青年部県大会を開催



会場の様子

大会は青年部間の交流を通じて各青年部事業の活性化や青年部間の連携強化を目的に毎年実施しており、今回は組合青年部等の若手経営者や後継者が40名出席した。

県大会最初のプログラムとなる講演会では、事業継舎の代表で事業承継・事業継続(BCP)アドバイザーの佐藤雅信氏より「変わる経済環境、新たな事業継続の考え方!」をテーマに、県下で既にBCP策定に取り組んでいる組合と組合員の事例紹介がされた。

「BCPは災害時の緊急対応の備えだと思われがちだが、単なる防災活動ではなく、様々な事態に応じた事業の継続と企業の存続のための対策を考えておくことである。そのために、自社の事業の見直しを通じて企業力の強化と経営力の向上に取り組むことである。また業界や業種に関係なく、日々の業務や作業のやり方が特定の人にしかやり方がわからない状態である“属人化”をなくし、企業内の人的資産を構造的な資産に置き換えることが将来の事業継続・事業承継につながっていく」と説明があった。講演の最後には、「若手経営者や後継者で組織される青年部会員がBCP策定に取り組むことで、業界全体を通じた各企業の置かれているポジションの把握や今後の事業の展開に大いに役立つ。できるだけ早く青年部組織や組合組織を活用したBCPへの取り組みに着手して欲しい。」と語った。

その後の交流会では佐藤講師も参加し、山梨県産業政策課飯野課長、甲府市樋口市長、商工中金甲府支店福谷支店長、友好団体である東甲俱樂部宮澤会長、中央会飯室副会長を来賓として招き懇親を深めた。また、女性の組合員の参加もあり、新たな情報交換・異業種交流が各テーブルで行われ、盛会の内に終了した。



講師の佐藤雅信氏

中小・小規模事業者の経営の安定と 県内経済の発展に向けて

商工4団体より中小・小規模企業の振興について知事に要望

10月24日(月)に甲府市「ホテル談露館」で、知事と商工団体との懇談会が開催され、本県経済の総合的発展のための5点の要望を商工4団体の代表が後藤知事に行った。

この懇談会には、山梨県からは後藤知事のほか平井産業労働部長と茂手木観光部長が、また中央会からは松葉淳会長に加えて飯室元邦、坂本政彦、渡辺教一の副会長3人が出席、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所、山梨県商工会連合会からも正副会長等が出席した。



知事に要望書を手渡す商工団体の代表者

懇談会は、主催者の代表として本年度幹事団体である甲府商工会議所の金丸会頭が挨拶を行い、その後、後藤知事の挨拶に続いて要望書が4団体の代表から知事に手渡された。

知事へ提出された要望事項は5点で、4団体を代表して甲府商工会議所の金丸会頭より「中小・小規模企業の振興に関する要望」が行われ、続いて「甲府城周辺地域活性化基本計画の早期着手等」について甲府商工会議所の丹沢副会頭が、「山梨県中小企業・小規模企業振興計画に基づく小規模企業対策の充実強化」について山梨県商工会連合会の小林会長が、「県内中小企業の魅力発信とUIターン就職支援の強化」について中央会の飯室副会長が、「リニア駅と世界遺産富士山を結ぶアクセス道路等の基盤整備」について富士吉田商工会議所の堀内会頭が要望の詳細説明を行った。(要望書の全文は中央会ホームページをご覧ください。)

中央会では、「地方創生」により全国の地方自治体がアイデアと実行力により地域活性化の競い合いに取り組み始めている中、県内中小企業の経営力の向上や処遇改善と企業の魅力発信などの支援、県外(主に首都圏)に流出した人材に向けての企業情報・求人シーズ等の発信機能を強化することで、UIターン就職を進め山梨県の経済力を維持・発展につなげていきたいと要望した。



中央会の要望を伝える
飯室副会長と松葉会長、坂本・渡辺副会長

後藤知事からは、「県でも人口減少対策に取り組んでいるところで、人材育成は県全体の重要施策となるので、平成29年度予算編成にもできるだけ反映させていきたい。」とのコメントがあった。

その後、各団体の出席者から個別の要望や意見があり、中央会の坂本副会長からのお礼を含めた言葉により閉会した。

中小企業の人材の育成と定着をめざして

●若手社員スキルアップセミナーを開催

中央会では、10月14日に山梨県立図書館において入社2年目から3年目の若手従業員を対象に「若手社員スキルアップセミナー」を開催した。このセミナーは、中小企業における若手社員の育成と定着を目的に、社会人として必要な知識の習得と自立した業務遂行のために必要なスキルの向上を学ぶセミナーとして、27社から定員を上回る51名が参加した。



ディスカッションでの参加者の交流

セミナーは「若手から真のビジネスパーソンへの

成長をめざすには」と題して、現状の業務の棚卸し、社会人としての基礎力、挨拶・報連相、フォローアップ(上司補佐)、主体性などについて、ワークシートを用いて4人1組でのディスカッションと発表を行った。

講師の小林和美社会保険労務士は「自分のキャリアは会社任せにせず、自分でデザインすること。仕事で実績を積み、できることが評価され、やりたいことへの挑戦ができる。社会人基礎力として主体性、実行力、ストレスコントロール力が重要。報連相の強化がチームワークを向上させる。」と説明した。また、「今日学んだ挨拶や報連相を明日から実践することにより、周囲からの評価の変化を感じられると思う。セミナーで宿題とした将来あるべき姿の未来予想図を各自が考え続けてもらいたい。」とエールを送った。

今回のセミナーを終え、参加者がそれぞれキャリア

デザインを描き、主体的な仕事への姿勢が生まれ、企業人として羽ばたく一歩につながることが期待される。

中小企業にとって、OJT以外の人材育成にお金や労力をかけることが難しい状況の中で、組合や業界組織で共同して人材確保(採用・育成・定着)に取り組むことが重要になると予想される。

中央会では、年度内に若手従業員向けセミナーをもう1回、若手従業員の定着を目的とした経営者・管理者向けセミナーを2回開催する予定なので、積極的な参加をお待ちしています。



講師の小林和美社会保険労務士

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域の農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介し



クッキー作り体験を指導する岩間理事長

地域の農産物を活用した新商品開発と販路開拓を目指す

●南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館 理事長 岩間 花子 氏

6次産業化に取り組むことになった経緯は?

旧櫛形町の農家女性の6グループが農家の発展と中山間地域の活性化のための加工施設の設置を町に要望し、平成11年に「あやめの里活性化施設・ほたるみ館」が建設されました。その運営主体となったアヤマの里特産品加工組合を発展的に改組し、地域の女性を中心に平成16年に企業組合として法人化したのが南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館(岩間花子理事長 組合員101名)です。当初は、地域の農産物を材料とするジャム、味噌、漬物の加工から始めた後、徐々に開発商品を拡げ、製菓、惣菜、アイスなどの加工食品を製造し、国道52号線沿いの春仙美術館横の「まちの駅」での販売をはじめ、販売促進の一環として、南アルプス市や地元商工会が主催する各種イベントにも積極的に出店し、地域特産品のPRを行ってきました。

6次産業化への課題は何でしたか?

平成27年6月、中部横断自動車道の南アルプスに正面に直売所「完熟農園マルシェ」がオープンすることになり、組合も南アルプス市の支援と経営アドバイザーの指導のもと「完熟農園」を新たな販売拠点と

しジャム、味噌、まんじゅう、梅漬け、惣菜などを統一イメージのパッケージにして販売を開始しました。これまで既存の販路では販売拡大がなかなか進まなかったこともあり、新たな販売拠点に大いに期待しましたが、残念ながら「完熟農園マルシェ」が閉鎖となり、マルシェ向けに開発した商品が在庫となってしまいました。そこで、「まちの駅」で値下げ販売を行い、何とか危機を脱しました。

現在の課題は、惣菜など賞味期限の短い商品を確実に売り切るように製造数の管理をしっかり行うことと、ジャム、フルーツドレッシングなど賞味期限の長い商品の売上拡大のための新たな販路開拓です。

今後の展開は?

昨年、南アルプス市産の完熟フルーツピューレをゼラチンで固めた香料・着色料無添加のお菓子「完熟フルーツ ギモーヴ」が厚生労働省主催の成果物コンテスト全国1位となり、今年4月より販売しています。この商品をまちの駅や組合の朝市を通じてPRし、一層の拡大を図っていききたいと思います。また、フルーツドレッシングは、「秋の地場産業まつり」や「JAこま野ふれあいまつり」などに出席し試食販売を行ったところ好評でしたので、今後も様々なイベントに出展し

て販売拡大を図っていききたいと思います。

また、町内の食品施設の加工設備を譲り受けられる可能性も出てきましたので、今後も、地元の食材を上手く活用し、市役所、商工会、中央会の支援を受けながら新商品の開発を行うとともに、県内他市町村や県外にも営業を行い、新たな販売ルートの確保もしたいと考えています。



JAこま野ふれあいまつり

やまなしものづくり最前線!

非磁性で高強度のステンレス製微細ねじの開発

●株式会社 降矢技研 代表取締役 鈴木 由幸 氏

株式会社降矢技研(鈴木由幸代表取締役 笛吹市)は、平成24年度のものづくり補助金を活用し、「温間加工技術を用いた非磁性高強度オーステナイトステンレス細線の製造とねじ等の非磁性高強度部品の量産試作開発」に取り組んだ。

同社は昭和52年に旧石和町において創業、主に2ミリ以下の精密ねじの製造を行い、デジタルカメラをはじめ様々な製品に組み込まれている。

コンピュータやスマートフォンなどの電子機器分野以外の生体医療分野でも、さらに機器の小型化が進

んできており、ねじには小型化に加え一層の強度が求められるようになっている。また、同時に、微細ねじにも精密機器に悪影響を及ぼす磁気を帯びない非磁性が求められている。

これまでねじに耐食性を持たせるための材料として、ステンレスが多用されてきた。ステンレスはニッケルとクロムを主材料とする合金で、金属の割合や加工方法により非磁性化するという特性がある。そこで今回の開発では、加工温度の条件設定により非磁性で高強度が得られるオーステナイト系ステンレスを素材とした微細ねじの加工技術の確立に取り組んだ。

まず、開発の第一ステップでは、ねじの材料となるオーステナイト系ステンレスを細く長くワイヤー状に加工する新たな伸線機の試作開発に取り組んだ。開発では、既存の伸線機に炉やヒーターなどを取り付け、素材を加熱できるように改造を施した試作機を完成させた。開発した試作機により、想定した温度域範囲での連続伸線加工により非磁性で高強度のオーステナイト系ステンレス細線が製造できることが確認できた。この成功は、実現に向けて非常に大きな一歩となった。

第二ステップでは、製造したステンレス細線を使いねじ本体の加工に取り組んだ。現状の高強度のね

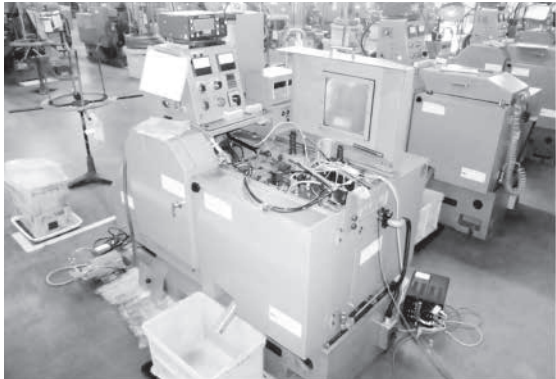
じの加工は切削加工による製造方法が多く、切削により発生する切り屑による材料ロスが多く生産性が悪いという課題があっ

た。この課題を解決するため、今回は特定の温度域で圧力をかけて素材を加工する「温間成型」によるねじ製造装置の試作を行った。しかし、開発した装置はヒーター等の能力不足により機械や潤滑油の加熱では想定した温度域までの昇温ができず、その結果、ねじに微弱の磁気が残ってしまうという課題を残した。

鈴木社長は「本開発の中で残っている機械等の温度管理の課題解決に向け、現在も実験を続けている。非磁性で高強度のステンレス製微細ねじの開発により、新たな市場として骨の接合やインプラント等の生体医療分野、ロボット等の関節ステッピングモーター軸や電気自動車部品等の電子部品分野への参入も視野に入り、今回の開発の課題解決ができれば、当社の今後の主力製品になると考えている。」と語ってくれ、今回の開発が次につながる事がうかがえた。



鈴木社長



開発した試作機

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

情報BOX

経営戦略としてのBCPセミナー

BCP(事業継続計画)は非常事態における業務の停止・被害を最小限に抑えるために平常時に策定する計画です。今回のセミナーでは、BCP策定の概念・必要性・実務的なメリット等を分かりやすく説明させていただくと共に、「実効性のあるBCP策定」を実現する方法について解説させていただきます。

開催日時 平成28年12月7日(水) 14:00～16:00

開催場所 山梨県庁 防災新館 4階 409会議室
住所：山梨県甲府市丸の内1丁目6-1

講演テーマ 1. 経営戦略としてのBCP (90分)
2. BCP策定企業の実例紹介 (30分)

※詳細については「県産業政策課」まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先 県産業政策課 (担当：望月・横内)
TEL.055-223-1532
FAX.055-223-1534

第14回

山梨の10士業による「無料なんでも合同相談会」について

司法書士・公認会計士・行政書士・弁護士・社会保険労務士・弁理士・土地家屋調査士・不動産鑑定士・税理士・中小企業診断士等県内の10専門職団体所属のスペシャリストが、暮らしの小さな問題から中小企業者の事業上の大きな悩みまで幅広く相談に応じます。複雑な問題には複数の専門家が合同で対応します。相談は無料です。お気軽にお越し下さい。

日時 ▶平成28年11月23日(水)祝日
午前の部…10:00～12:00 (最終受付11:30)
午後の部…13:00～16:00 (最終受付15:30)

場所 ▶甲府市総合市民会館3F大会議室
(甲府市青沼3丁目5番44号)

問い合わせ ▶一般社団法人山梨県中小企業診断士協会
TEL.055-215-2261

山梨県勤労者福祉資金融資制度のお知らせ

県では、勤労者が安定した生活を送れるよう、医療や教育、住宅補修、その他生活のために必要な資金融資(限度額100万円)を1.43%の低利で行っています。

◆対象者…

- (1)県内に居住し、従業員300人未満の中小企業に1年以上雇用されている方。
- (2)県内に居住し、従業員300人未満の中小企業に1年以上雇用されている方で、3歳に満たない子を養育するために休業をしている方や、要介護状態(2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態)にある家族を介護するための休業を取得している方。
- (3)県内に居住し、同一の企業に1年以上勤めた後、企業の倒産など事業主の都合により離職した方で、雇用保険受給資格者証の交付を受けている方又は受給終了後6ヶ月以内であって求職活動をしている方。

◆資金使途…医療、慶弔、教育、住宅補修、災害、その他生活のために必要な資金

◆金利…年1.43% (平成28年4月1日から)

◆融資限度額…100万円

※詳細については「県労政雇用課」まで問い合わせ下さい。

◆問い合わせ先…県労政雇用課
TEL.055-223-1561 FAX.055-223-1564

山梨県障害者職業能力検定のご案内

この検定は、知的障害者が職業に関する技術・技能に習熟し、企業への円滑な就労や職業意識・職業能力の向上を促進することを目的としています。

障害者雇用をお考えの企業関係者の皆様、ぜひ見学にお越し下さい。

★ 接客サービス検定 ★

模擬的に設置された喫茶店における一連のサービスについて評価をします。

日時：平成28年12月3日(土)、12月4日(日)
午前9:30～午後2:40

場所：山梨学院短期大学(スイーツスタジオ)
【甲府市酒折2-4-5】

★ 事務アシスタント検定 ★

文書の三つ折り、あて名シール貼り、封入、封筒の仕分けの各作業について評価をします。

日時：平成28年12月3日(土)、12月4日(日)
午前9:00～午後4:15

場所：山梨学院短期大学(サザンタワー)
【甲府市酒折2-4-5】

★ ビルクリーニング検定 ★

オフィス内を想定し、清掃の基本となる、タオルによる机拭き、自在ぼうきによる作業について評価をします。

日時：平成29年1月21日(土)、1月22日(日)
午前9:00～午後4:45

場所：山梨県立高等支援学校桃花台学園
【笛吹市石和町中川1400】

※詳細については「県産業人材育成課」まで問い合わせ下さい。

★問い合わせ先 県産業人材育成課 TEL.055-223-1566

中小企業のための育児・介護支援プラン導入支援事業のご案内 **無料**

厚生労働省では、「中小企業のための育児・介護支援プラン導入支援事業」を開始し、育休取得・復帰環境整備のノウハウを有する『育児プランナー』の無料支援を実施しております。また、プランを策定された中小企業においては「中小企業両立支援助成金 育休復帰支援プランコース」の活用チャンスもございます。詳しくは添付のチラシまたはホームページをご覧ください。

※参考 厚生労働省「育休復帰支援モデルプラン」についてはこちら

▶ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000067027.html>

問い合わせ 株式会社パソナ 育児・介護支援事務局 TEL.03-5542-1740

※詳細、申込みは(HP) ▶ <http://ikuji-kaigo.com/>までご連絡をお願いします。

シルバー人材センターのご案内

企業・公共団体等のみなさま シルバー人材センターを活用ください!

技能分野

庭木の剪定、障子・ふすまの張替え、大工仕事など



一般作業分野

除草、草刈り、屋内外清掃など



管理分野

施設受付、駐輪場整理など



サービス分野

福祉・家事援助サービスなど



事務分野

文章整理事務、毛筆筆耕、あて名書き、受付事務、経理事務など



ボランティア 社会活動分野

地域の清掃活動など



請負・委任事業とシルバー派遣事業を行っています。

山梨労働局より委託を受けて各技能講習会を実施しています(高齢者活躍人材育成事業)

甲府市 甲府市相生2-17-1 ☎055(222)9488

東部広域

大月事務所 大月市大月町花咲10 ☎0554(22)2900
都留事務所 都留市田野倉1330 ☎0554(45)3500
上野原事務所 上野原市上野原3757 ☎0554(62)4700

東山梨地区 広域

塩山事務所 甲州市塩山下於曾1704 ☎0553(32)4110
山梨事務所 山梨市小原西955 ☎0553(22)4150

富士五湖 広域

東部事務所 富士吉田市小明見3-11-32 ☎0555(22)9241
西部事務所 南都留郡富士河口湖町船津890 ☎0555(72)3548

峡北広域 韮崎市巾中町中条1795 ☎0551(25)6300

峡南広域

鯉沢事務所 南巨摩郡富士川町鯉沢655-8 ☎0556(22)8701
身延事務所 南巨摩郡身延町梅平2483-36 ☎0556(62)1165

峡中広域

甲斐市篠原2644-3 ☎055(279)6626

南アルプス市

南アルプス市飯野2806-1 ☎055(282)6633

笛吹市

笛吹市石和町小石和751 ☎055(225)6703

公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 ☎055-228-8383 FAX 055-228-8389
甲府市飯田三丁目3番28号 スカイハイツ1階 URL <http://www.sjc.ne.jp/y-rengo/>

